

第3章 計画の基本的考え方

1 基本理念

ともにささえあい、安心して子どもを産み育てることができるまち

どんな次代においても子どもを産み育てることの尊さは普遍的なものです。上板町では親や家庭が子育てについての第一義的責任を有するという原則のもと、誰もが子どもを産み育てることの尊さと喜びを理解し、子どもの健全な成長を見守り支えていける地域社会を形成していくことが大切であると考えます。

2 基本的な視点

以下に示す3つの方向性を本計画において大切にすべき視点と考え基本的な視点に位置づけます。

● こどもがのびのびと健やかに育つために

子どもは時代を担うかけがえのない存在であるとともに、生命に対する固有の権利を有しています。子どもたち一人ひとりが自らの個性や可能性を発揮しながら、夢と希望をもってのびのびと成長していく姿を見守り、応援できる環境づくりを目指します。

● 親がゆとりをもって安心して子育てができるために

子どもにとって生活の場の基本は家庭であり、子どもが最も安らげる場所が家庭です。この家庭において、親がゆとりをもって安心して子育て出来ることが理想的な姿です。子育て家庭の孤立化を防ぎ、子育てに関する不安や負担感を軽減するとともに、子育て家庭そのものが機能するよう、その成長を支援できる環境づくりを目指します。

● 地域みんなで子どもの成長を支えるために

子育ての基本は家庭にあるものの、地域は子どもが育つ基盤として重要な役割をもち、大きな影響を与えています。子どもの成長に関心を持ち、子どもやその家庭をあたたかく見守り、ときには積極的に関わっていくことによって地域もともに子育ての喜びを実感できるまちづくりを目指します。

3 施策の体系

